

# 閩南師範大学交換留学レポート

2025年12月31日

L214005 法文学部 阿武 佳祐

## ・4ヶ月間講義を受けての感想

漳州に到着してから4ヶ月が過ぎました。1月の中旬にある期末試験も近づいてきました。前回の報告レポートにて書いた通り、前期（9月~1月）は中国語の授業を受けていたので、それに関して述べていきたいと思います。

まず「前期は中国語の授業を受けていた」経緯についてですが、僕は留学を開始する前から中国語を学んでいて、HSK5級を6月に受験し、六割以上獲得しました。しかし、先生の話聞き取れるか等の不安があり、現地の先生と相談し、そのように講義を組みました。

講義の内容についてですが、僕はHSK4級のクラスに入ることとなりました。そのため、4級向けのリスニング、スピーキング、総合課及び、中国や福建省の文化を知る2つの講義を受けました。前3つは教室内で中国語を学び、後ろ2つは学内外で劇を観たり、茶やお香などを体験したり、文化や古代思想などの歴史を学んだりします。今までHSK対策はほぼ個人でしていたので、初めて知る単語や表現もところどころあり、日常生活上での中国語能力の向上に役立ったと思います。また、文化研修の科目内では、人形劇や茶などに関して学びました。個人的に特に印象に残ったのが閩南オペラです。劇は全て閩南語な上、左右にある字幕も方言字が混ざっていて全ては理解できなかったものの、演者の方々の演技が真に迫っていました。

## ・公共交通機関について

まず、学内の移動には、シェアサイクルと校内バスがあります。シェアサイクルと校内バスで使うアプリは（それぞれ哈啰、云乐一卡通）wechat又はalipayのミニアプリ内にあります。wechatでは連絡先→サービスアカウント→虫眼鏡アイコンを押して探せませし、自転車にあるQRコードをアプリで読み取ってもダウンロードできます。

漳州市内の移動手段に関してですが、電動バイク、バス、タクシーが使えます。電動バイクはシェアサイクルと同様にして乗れます。ただ、中国では18歳以上に慣れば誰でも乗れるため、危ない運転をする人が多いのでおすすめはしません。バスはalipayを開き、左上を押して地域を設定→Transport→対応する会社を選択してQRコードを表示できます（もし支払い情報を登録していなか

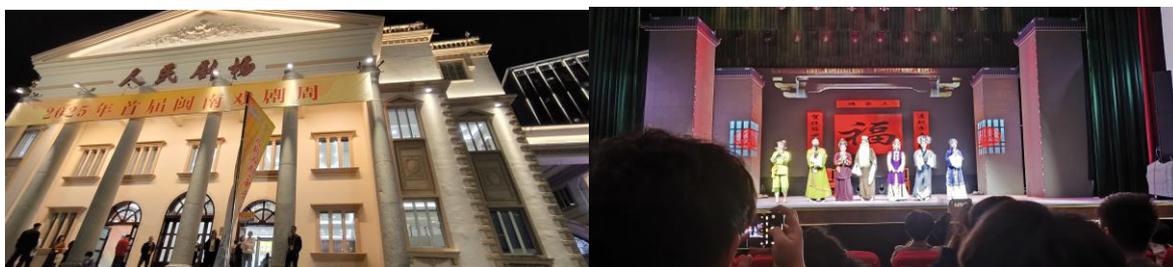
ったら、先に登録しましょう。また漳州市にはありませんが、地下鉄も同様に使えます)。タクシーは滴滴をダウンロードし、支払い方法を登録すれば使えるようになります。都市間の移動は、鐵路12306を使い予約できます。

## ・最後に

1月の中旬頃に日本へ一時帰国します。一年間留学予定なので折り返し地点になりますが、その間に様々な体験ができました。後半も無理せずに勉学等充実した生活を送りたいと思います。



雲洞山から見た漳州市です。文化研修内で登りました。



同じく文化研修内できた劇場（左）と、閩南オペラの終わりの後の挨拶部分（右）です。途中から、隣のカメラマンの女子が飽きたのか音を出してスマホを覗いていました。



現地にも日本式カレーはありましたが、どれも甘いものばかりでした。そこで、日本語専攻の学生さんたちと一緒に学内の公共厨房でカレーを作りました。



厦門で花火を見て年越しをしました。この写真は大晦日の日本料理店でのトマトラーメンです。